



別記様式第5号(第2条関係)

記 録 票

教育長	課長	主幹	課長補佐	係長	係員		
小西	貞盛			奥田	奥田	宮本	坂本
(関係課： )				報告者職名・氏名 課長補佐 浅井田 展彦			
件名 令和5年度第3回教科用図書選定委員会(小学校)				方法 <input checked="" type="checkbox"/> 来庁 <input type="checkbox"/> 出張 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他			
内容 <input checked="" type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 質問 <input type="checkbox"/> (こちらから) 照会 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
令和5年8月3日(木)16時00分～19時30分				場所 大竹市役所1階職員休憩室			
出席者	総務学事課課長補佐兼教育指導係長 横峰			相手方	【選定委員】 真鍋 和聰 (小方小学校長) 大橋 綾子 (学識経験者) 野崎 光弘 (学識経験者) 藤高 聡子 (玖波小PTA) 浅井 達矢 (大竹小PTA) 貞盛 倫子 (教育委員会)		
<p>1 はじめに 開会あいさつ(真鍋会長)</p> <p>2 事務局説明 (1) 配布資料の確認 ・大竹市教科用図書採択地区選定委員会答申整理表 ・「選定資料(小学校用教科用図書)」(広島県教育委員会)の正誤表</p> <p>(2) 審議内容の説明 本日の会では、配布した資料をもとに、種目ごとに協議し、最も適切と思われる教科書を選定し、その選定理由を明らかにして、教育委員会への答申案について協議をしてもらいたい。 なお、本選定委員会で1つの教科書に絞り込む事が難しい場合には、最大2つの教科書を、順位付けした形で選定してもらいたい。 大竹市教科用図書採択地区選定委員会答申整理表は本日の協議内容を整理する形で自由に活用してもらいたい。</p>							

### 3 選定する教科書及び理由の協議（【委】選定委員、【長】会長）

【長】会の進め方としては、各委員からそれぞれのよいと思った教科書とその理由について意見をいただいた上で協議をしていきたいと考えているがどうか。

【委】それで構わない。

#### ○国語

【委】東書がいいと思う。理由として、調査研究報告書から5点、他に、物語文では、「なぜ」の問いで事実を基に解釈させる発問、登場人物の変化を問う発問等、読解力を培う発問も示されている点を上げた。教出、光村では過程や事実を問う発問となっている。光村は大きなくくりで問い、自分の言葉で語らせるようなものになっている。

【委】東書は入門期の指導がしっかりしている。また、単元でつける力が明確である。この点では、光村もよくできている。

【委】東書は導入期に国語の学習に入りやすい工夫がしている。1年生の教科書では、いきなり「あいうえお」の文字を書くのではなく、一筆書きできるものから取り上げ、「とん」「すうっ」「びたっ」と、音と一緒に文字を書くようにしている。また、言葉集めをしながらひらがなを覚えるようにしている。

【長】国語については東書を選定し、次の選定理由でよいか。

（全員了承）

#### 選定理由

- ・教材の初めのページに「学習の流れ（見通す、取り組む、振り返る）」が示されていて、学習の見通しをもてる。
- ・教材の初めのページの二次元コードで関連する既習の学習内容も示されており、既習事項の活用を意識できる。
- ・学習指導要領における「第3学年及び第4学年の内容の第3学年で学習するローマ字の読み書き」に関して、第3学年で2回、第4学年で1回扱われており、タブレット端末の活用に関しても3・4学年で複数回学習できる方が良い。
- ・第6学年では、巻頭で紙のノートの作り方と共にデジタルノートの作り方も掲載されており、二次元コードで実際に使うことができる。
- ・第1学年の促音、長音、拗音の学習ではMIM（多層指導モデル）を取り入れ、音と文字の関係を体感的に捉えるようにしている。また、入門期のひらがなの指導がていねいになされている。
- ・各教材で付けたい力が明確に示されている。

#### ○書写

【委】東書がいいと思う。理由として、調査研究報告書から3点、他に、巻末の「学習した漢字」全てに読み仮名が付いている点、第3学年の「点画の名前」で「横、縦、折れ、点、はね、はらい、とめばらい」の書き方のページがあり、全ての毛筆の学習に活用できる点を上げた。

【委】東書は点画の種類が、複数学年にわたってされている。

【委】光村でも、東書と同様に筆の中に顔が書かれているが、東書のイラストの方が穂先をイメージしやすい。

【長】それでは、書写については東書を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・毛筆では、第3学年から第6学年で、筆の中に顔が描かれているイラストによって、穂先の向きを意識して書くことができるように工夫している。
- ・左利きの鉛筆の持ち方(第1学年)や毛筆での用具の置き方(第3学年)を示している。
- ・単元における「見つけよう(虫眼鏡マーク)」では、課題のある例との比較で児童が自らポイントに気が付けるようになっている。
- ・巻末の「学習した漢字」全てに読み仮名が付いている。
- ・点画の種類が複数学年にわたって丁寧に示されている。

#### ○社会

【委】東書がいいと思う。理由として、調査研究報告書から2点、他に、「なぜ」の問いで推測して資料等で調べて検証する科学的探究の学習方法を取り入れている点、産業学習では、おかげさま主義ではなく、利潤追求の視点で社会の仕組みを学習できるように問いの工夫がされている点、3年生での農業・工業・商業の働く人の願いとして、利潤追求の視点も取り入れ「たくさんの人に食べてもらいたい、たくさんのお客さんに来てほしい」と児童の書いた学習カードにまとめられている点、個別的な事例となるが3年スーパーマーケットの様子店内の図が、ゴシック体ではっきりと売るものの名称が示され、売るものの絵もはっきりと描かれ、児童が学習課題を生み出しやすい点、問いが構造的に示されている点を上げた。

【委】東書は単元の最初で学習の課題が示され、単元末のまとめで、単元のキーワードを基に児童に思考させてまとめるようになっている。

【委】東書は6年生が分冊となっているが、どのような順番で使用するのか。他者は政治、歴史、国際問題となっている。

【委】どこからやってもよいが、学校では、「政治・国際編」「歴史編」という順番で使っている。

【長】社会については東書を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・単元の初めの「つかむ」(つかむ、調べる、まとめる サイクル)で、学習問題作りのために事実としての資料等が複数掲載されている。
- ・第5学年で「上・下」、第6学年で「政治・国際編」と「歴史編」に分冊され、運びやすく使いやすい。

- ・単元末のまとめが、単元のキーワードを基に児童に思考させて、まとめるつくりとなっている。
- ・「なぜ」の問いで推測して資料等で調べて検証する科学的探究の学習方法を取り入れている。
- ・産業学習では、利潤追求の視点で社会の仕組みを学習できるように問いの工夫がある。また、3年生での農業・工業・商業の働く人の願いとして、利潤追求の視点も取り入れ「たくさんの人に食べてもらいたい、たくさんのお客さんに来てほしい」と児童の書いた学習カードにまとめられている。
- ・3年スーパーマーケットの様子の店内の図が、ゴシック体ではっきりと売るものの名称が示され、売るものの絵もはっきりと描かれ、児童が学習課題を生み出しやすい。
- ・問いが構造的に示されている。

### ○地図

【委】帝国がいいと思う。理由として、調査研究報告書から3点、他に、全体的に色合いが淡く、とても見やすい、色使いや都道府県、国の区分線も分かりやすい点、さくいんが色分けされ分かりやすい点、資料の雨温図、降水量の一番多い月は色の濃い棒グラフで、気温は最高と最低の月を数値でも示している点を上げた。

【委】東書の雨温図は、単に奇数月、偶数月で色分けがされているだけである。数値も平均気温と年降水量が示されているだけである。

【委】東書の方が資料として扱いやすい。色やレイアウトなど、すべてである。

【長】地図については、帝国を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

### 選定理由

- ・世界と地球儀では、地球儀の使い方を写真と文字だけでの説明ではなく、二次元コードによる動画を用いて立体的に理解できるように工夫されている。(距離や面積の調べ方も)
- ・3年生から使用しやすいように、「地図の世界へようこそ」「地図の約束」など、大きな文字や大きな図で分かりやすく作られている。
- ・P. 21からの日本の地方別地図は、「広く見渡す地図」として地図入門期にも分かりやすく、文字なども大きく作られている。P. 33から詳しい地図になっている。
- ・全体的に色合いが淡く、とても見やすい。色使いや都道府県、国の区分の線も分かりやすい。
- ・さくいんが、色分けされ、分かりやすい。
- ・資料の雨温図、降水量の一番多い月は色の濃い棒グラフで、気温は最高と最低の月を数値でも示している。

### ○算数

【委】啓林がいいと思う。理由として、調査研究報告書から7点選んだ。

【委】児童の思考の流れに沿った授業展開については、例えば、第6学年の「分数÷分数」の単元では、啓林は計算のしかたの説明や計算の仕方の図が複雑ではなく分かりやすいと思った。

【委】1年生のスタートブックは啓林の他に3者あるが、啓林は導入期の指導がとても

丁寧で、算数の学習に円滑に入れるように工夫がされている。

【長】算数については、啓林を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・ 数学的な見方考え方の育成を重視したつくり。(マーカーで提示してありわかりやすい)
- ・ 関係図の活用が児童の思考を助けている。
- ・ 1年生では、数の構成を5といくつで表しており分かりやすい。(算数セットもこの形となっている。他者は10のかたまりで表している。)
- ・ 二次元コードには、何の二次元コードか文字で記載しているので、分かりやすい。
- ・ 表や図等の書き込みスペースが大きく、使いやすい。
- ・ 問題解決のためのヒント等が詳しすぎず、教員の裁量に任せられる点が多い。
- ・ 児童の思考の流れに沿った授業展開になっている。また、事例や図も絵も分かりやすい。
- ・ 1年生のスタートブックは、導入期の1年生にとって、ていねいに分かりやすく作られている。

#### ○理科

【委】啓林がいいと思う。理由として、調査研究報告書から4点選んだ。

【委】自分は東書がいいと思う。東書の方がシンプルで見やすいので、分かりやすいのではないかと思った。ただ、啓林と東書で迷った。

【委】自分も東書か啓林で迷った。東書の方が大判で字が大きく、流れもよい。

【委】単元導入の見開きに、単元固有の課題を示しているのが啓林である。

【委】啓林の方が、実験・観察の手順や、実験器具の使い方が丁寧に示されている。

【長】理科については、啓林を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・ 実験器具の使い方が、巻末ではなく使用する単元のページにあるので、実験する時に、すぐに確認することができる。
- ・ どの単元にも最後に「くらしとリンク」というテーマで学習したことが生活に活かされている場面が出てくるので、発展的に考えることができるようになっている。
- ・ 巻末に「かく」「伝える」「しせつの活用」「理科につながる算数のまど」「ものづくり広場」「理科の見方・考え方」という資料がある。「理科の見方・考え方」では、問題解決のための見方・考え方を振り返るようになっている。さらに漫画を通して理科の見方・考え方が日常生活に役立った例を確認できる。
- ・ 「問題をつかもう」では、見つけた「不思議」について、児童の話合いから問題を見つけることができるようになっており、ポイントとなる言葉にはマーカーが引かれている。
- ・ 単元のはじめに、単元固有の学習課題を具体的に示し、単元の終わりに再度学習課題を示し、説明させている。

- ・実験器具の使い方、観察の手順が具体的に、分かりやすく示されている。

休憩

#### ○生活

【委】東書がいいと思う。理由として、調査研究報告書から4点、他におもちゃ図鑑で基本的小さいおもちゃの作り方6種類を紹介し、さらに工夫する余地を残している点を上げた。他の教科書では、すでに何かに見立てているが、東書は児童が何かに見立てる工夫をするようになっている。

【委】東書は他教科で学習した内容の活用場面が示されている。

【長】生活については、東書を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・「かつどうべんりてちょう」も本体に組み込まれ、なくさない工夫がなされている。
- ・二次元コードでは、クイズや植物図鑑、花の残し方、秋植えの植物の画像や植物の世話の仕方・花の咲く様子・種の植え方の動画もある。「おもちゃ図鑑」に係る動画では、動くおもちゃの様子などもあり、児童が動く仕組みを理解しやすい。
- ・上巻は前の教科書より10%軽量化している。
- ・伝え合いの場面で、国語「話をつなごう」と、また、長さ比べなど、算数と関連付けて学べるようになっている。
- ・おもちゃ図鑑で基本的小さいおもちゃの作り方6種類を紹介し、さらに工夫する余地（何かに見立てる工夫）を残している。

#### ○音楽

【委】教芸がいいと思う。理由として、調査研究報告書から3点、他に単元名とめあてがセットで示されており、何を目標として学習するのかが分かりやすい点を上げた。

【委】「歌声ルーム」というコラムがあるのが教芸の特徴。歌い方のポイントが分かりやすく示されている。

【委】教芸はタンギングについても詳しく書かれている。

【長】音楽については、教芸を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・巻末に、鑑賞資料やリコーダー運指表、楽典事項、ふり返りのページがまとめて設けられており、児童が興味・関心をもちながら主体的に学習を進めていくことができるように工夫されている。「ふり返りのページ」に、各学年で学習した音楽を形づくっている要素を、関連するページ番号とともに示している。
- ・楽器の扱いについてのコラムで「手入れの仕方」を説明している。(1年生 鍵盤ハーモ

- ニカ「ホースを洗う」、3年生リコーダー「ガーゼでマウスピースの手入れ」など)
- ・リコーダーで立奏だけではなく、座ったときに吹く姿勢も提示している。
- ・単元名とめあてがセットで示されており、何を目標として学習するのかが分かりやすい。
- ・「歌声ルーム」というコラムでは、イラストを用いて学年の発達段階に応じた発声のポイントを具体的に示している。
- ・「タンギングと息の使い方」について詳しく説明している。

#### ○図工

- 【委】開隆堂がいいと思う。理由として、調査研究報告書から2点、他に5・6年生「つながる造形 美術館をたのしもう」では、美術館の活用の仕方や利用の際の注意事項など、分かりやすく示している点や、巻末の「学びの資料」では、道具の使い方を写真と絵を効果的に使い分け、分かりやすく示している点を上げた。全てを写真にするのではなく、絵の方が分かりやすいものについては絵を使用しているのがよいと感じた。(例：ペンチの使い方と比較)
- 【委】日文は、作品を作っている児童がマスクを着用している写真が多い。開隆堂は、作品を作る児童の表情が豊かである。
- 【委】日文にも、育てたい資質能力が示されているが、文字が小さく分かりにくい。1年生の教科書でも文字が小さいままである。
- 【委】開隆堂は、学習のめあてに下線が引かれており、コメントも色分けして提示してあるので、大事なところが分かりやすい。
- 【委】開隆堂は、資質能力とふり返りが一致している。
- 【委】準備するものが、日文では分かりにくいのが、開隆堂では分かりやすく示されている。
- 【委】開隆堂の方が、掲載されている児童の作品に魅力を感じる。
- 【委】開隆堂は作品の見せ方がうまく、見ていてわくわくする。日文は写真の掲載数は多いが、単調である。
- 【長】図工については、開隆堂を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・育てたい資質能力を3つのキャラクター（くふうさん（知識・技能）、ひらめきさん（思考・判断・表現力）、こころさん（学びに向かう力、人間性））で児童に親しみやすく示している。
- ・導入の二次元コードが全ての単元にあり、内容の動画が教材や学習内容への関心を高めるものになっている。
- ・5・6年生「つながる造形 美術館をたのしもう」では、美術館の活用の仕方や利用の際の注意事項など、分かりやすく示している。
- ・巻末の「学びの資料」では、道具の使い方を写真と絵を効果的に使い分け、分かりやすく示している。
- ・単元で使用する準備物を分かりやすく示している。準備する保護者の協力が得やすい。
- ・児童の造形への意欲を高めるような作品の示し方をしている。

- ・写真中の作品を作る児童の表情が生き生きと豊かで、児童の創作意欲をかきたてる。

## ○家庭

- 【委】東書がいいと思う。理由として、調査研究報告書から1点、他に二次元コードによる調理などの動画が、ある程度の作業のかたまりで、適度な内容と時間によって分かりやすく作られている点や、夏休みにも学校での家庭科の学習を活かして生活するように、1学期に学習した内容でヒントを与え発展的に学習に取り組むよう示している点、ミシンの各部の名称などの図を半ページ以上のスペースに大きく分かりやすく示している点を上げた。
- 【委】開隆堂の方が、縫うところやボタンのつけ方など、技術的なところが分かりやすい。
- 【委】東書の方が単元のタイトルが分かりやすい。開隆堂にも分かりやすいタイトルはあるが、総合的に見て東書の方が分かりやすい。
- 【委】開隆堂は基礎基本を教えている。東書は発展的な内容で、情報量が多く、児童に理解できるだろうと思う。
- 【委】1日の生活について、自分にできそうな家庭の仕事について話し合い、家庭科室を探検し、お茶をいれて野菜をゆでるという東書の流れの方が、児童にとっては自然なのではと思う。
- 【委】ガスコンロの使い方は、東書の方が丁寧である。
- 【長】家庭については、東書を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

## 選定理由

- ・家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、全ての大題材のタイトル横に視点を示すとともに、キャラクターの吹き出しによって、見方・考え方に気付くための課題を投げかけている。
- ・二次元コードによる調理などの動画が、ある程度の作業のかたまりで、適度な内容と時間によって分かりやすくつくられている。
- ・夏休みにも学校での家庭科の学習を活かして生活するように、1学期に学習した内容でヒントを与え発展的に学習に取り組むよう示している。(P.101)
- ・ミシンの各部の名称などの図を半ページ以上のスペースに大きく分かりやすく示している。
- ・裁縫道具や調理機器等の名称や使い方がていねいに示されている。
- ・学習への入り方がゆるやかに、自然に家庭科に入っていける。
- ・単元名が、何を学習するのかが分かりやすい。

## ○保健

- 【委】東書がいいと思う。理由として、調査研究報告書から1点、他に全ての単元の学習の進め方が「1 気づく・見つける」「2 調べる・解決する」「3 深める・伝える」「4 まとめる・生かす」の4つのステップで明確であり、「3 深める・伝える」では、学んだ知識を活用して事例を考え、説明させ、思考・判断・表現力を養うようになっている点、現実的で具体的に考えさせる問いが多い点を上げた。児童に深く考



えさせる問いになっている。

【委】記述できるところがたくさんあるのがよい。

【長】保健体育については、東書を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・二次元コードからの資料が充実している。視聴覚に訴え、学習内容をより深く理解できるようになっている。
- ・全ての単元の学習の進め方が「1 気づく・見つける」「2 調べる・解決する」「3 深める・伝える」「4 まとめる・生かす」の4つのステップで明確である。
- ・「3 深める・伝える」では、学んだ知識を活用して事例を考え、説明させ、思考力・判断力・表現力を養うようになっている。
- ・現実的で具体的に考えさせる問いが多い。(5・6年生P.59むし歯 55ページのステップ1で印をつけた生活行動のうち、これからも続けてしまいそうな行動を選びましょう。そして、その行動を続けられないための対策を考え、話し合しましょう。①続けてしまいそうな行動 ②続けられないための対策 ③ほかの人の意見を聞いて、考えたことや分かったことを書きましょう。)
- ・記述できる箇所が豊富であり、単元の導入に書き込んだ「メモ」の記述と、最後の「まとめる・生かす」の記述を比較することができる等、児童の考えの変容を見取ることができるように工夫されている。

#### ○道徳

【委】 日文がいいと思う。理由として、調査研究報告書から3点、他に各教材文に中心発問を含む2つの発問が掲載されており、中心発問は、登場人物の価値観の高まりの場面での問いとなっている。また、他の基本発問は指導者の児童観や指導観等による裁量を生かせるようになっている点や、各教材文に、あらすじの一部や登場人物が示されており、児童の内容理解の助けとなっている。また、キャラクターの冒頭での問いが、学習する価値への導入となっており、その価値についてブレずに考えさせることの助けにもなっている点を上げた。

【委】 日文には基本発問がないが、基本発問は先生が考えてすればよい。価値に迫る考えを深める発問が設定されているのは日文であり、他のものはどうすればよいかという行動面を問うものが多かったと思う。

【委】 道徳は内面を考える時間であり、それが考えられるようになっているのが日文である。

【委】 日文のような道徳ノートがあることで、児童もふり返りがしやすい。学習の足あととしても残される。

【長】 道徳については、日文を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・全教材文について記述できる道德ノートがあり、自分の考えを書くことができる。問いが固定されて記入されておらず、指導者の児童観や指導観等による裁量を生かせるよう改善されている。学習の足あととしても残される。
- ・いじめの4層構造では、さらに助ける大人が描かれている。
- ・全ての教材文に二次元コードの資料が付いている。朗読やワークシート、心情メーターやクイズ、相談窓口など、内容も充実している。
- ・各教材文に中心発問を含む2つの発問が掲載されている。中心発問は、登場人物の価値観の高まりの場面での問いとなっている。他の基本発問は指導者の児童観や指導観等による裁量を生かせるようになっている。
- ・各教材文に、あらすじの一部や登場人物が示されており、児童の内容理解の助けとなっている。また、キャラクターの冒頭での問いが、学習する価値への導入となっており、その価値についてブレずに考えさせることの助けにもなっている。

#### ○英語

【委】開隆堂がいいと思う。理由としては、まず、CAN-DOリストの特徴がある。開隆堂は、第5・6学年の教科書ともに、巻末にCAN-DOリストがCAN-DOチェックとして、単元ごとの表で示されており、4技能ごとに「分かる」「使える」の視点で、3段階チェックになっている。色を塗り、コメントを書くようになっていることから、リストの内容が理解しやすい。CAN-DOリストのある他者のものは、内容が分かりにくかったり、自己評価が難しかったりした。

もう一つは、別冊についてである。開隆堂は別冊でワードリストが「Word Book」として各学年1冊ずつある。カラーのイラストとともに表示されており、ジャンル別にまとめられている。ジャンルごとに二次元コード（発音）が付いている。他者は、5・6年で1冊だったり、ワードリストがなかったりした。

【委】ワードリストが別冊になっているのは、教科書を使用しながら調べることができるので使いやすいと思う。

【委】東書は書く量が多く、児童にとって難易度が高い。教出は活動や書く場所が少なく易しい。光村はもっと易しい。開隆堂、三省堂、啓林館が中間の難易度と感じた。そうしたことを踏まえて、開隆堂が適切と考えた。

【委】東書は日本語を書くところが多い。児童の学ぶ意欲がわからないのではないか。バランスがいいのが開隆堂で、やりとりが多い。

【委】見開き2ページで4技能5領域の学習活動がバランスよくできるように構成されている点もよい。

【委】県教委の選定資料を見ても、中間的なものが開隆堂だと思う。中学校の英語へ繋げていくことを考えると、易しすぎてもいけないし、難しすぎて英語が嫌いになってもいけない。

【委】開隆堂は、人とやり取りをした上で、読む・書く活動が設定されており、うまく構成を考えている。

【委】開隆堂は、単元のゴールを目次と、単元の最初に示している。単元で何をするのか分かりやすい。

【委】教科書の最初にクラスルームイングリッシュを載せている開隆堂がいいと思う。

【委】開隆堂は作りがすっきりしている。目次にゴールが示されている。巻末の「CAN-DOチェック」は一覧で見られるのでよい。これを見たら、学習内容が徐々にステップアップしているのが分かる。

【委】開隆堂は一貫性があるため、児童は学びやすく、教師は教えやすい。5・6年生の英語は外国語活動ではないので、ちょっと難しいレベルがいい。

【長】英語については、開隆堂を選定し、次の選定理由でよいか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・第5・6学年の教科書ともに、巻末にCAN-DOリストがCAN-DOチェックとして、単元ごとの表で示されている。4技能ごとに「分かる」「使える」の視点で、3段階チェックになっている。色を塗り、コメントを書くようになっている。
- ・別冊でワードリストが「Word Book」として各学年1冊ずつある。カラーのイラストとともに表示されており、ジャンル別にまとめられている。ジャンルごとに二次元コード(発音)がついている。
- ・見開き2ページで、4技能5領域の学習活動がバランスよくできるように構成されている。

#### ○選定結果

種目	発行者	種目	発行者
国語	東書	音楽	教芸
書写	東書	図工	開隆堂
社会	東書	家庭	東書
地図	帝国	保健	東書
算数	啓林館	英語	開隆堂
理科	啓林館	道徳	日文
生活	東書		

#### 4 その他 事務局から

- (1) 本日の協議結果を整理し、事務局において教育委員会に対する答申案をまとめる。
- (2) 8月18日開催の教育委員会には真鍋会長に出席してもらい、教育委員会へ答申をしてもらう。答申を受けた教育委員会において審議を経た上で、教育委員会として令和6年度から使用する小学校教科用図書を正式に採択することになる。

#### 5 会長あいさつ(真鍋会長)

#### 6 閉会あいさつ(貞盛総務学事課長)